事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【福祉分野】

福祉の店販売促進事業 【鳥取県:倉吉市】

福祉の店は鳥取県の中部地区18の授産施設、作業所、障がいのある方の関係団体で構成されており、平成12年に設立しました。販売実績も年々、少しずつですが増加しています。

昨年6月から倉吉市役所、今年度から鳥取県中部総合事務所で出張販売をしています。また、ショッピングセンターや各種イベントの時に出店しています。

今回、ふるさと雇用再生特例基金事業で、障がいのある方を2 名雇用し販売促進を実施していますが、まずは接客業務を経験 してもらい、次のステップにつなげていただきたいです。



中部地区福祉の店 振興協議会 会長 八渡和仁さん

事業概要

障がいのある方の授産施設等でつくられた、食品・農産物・手芸品等を福祉の店で販売する。障がいのある方を雇用し販売促進等を行う。

委託先

中部地区福祉の店振興協議会

議会

2人

事業費

2.234千円(平成21年度)

事業の開始

雇用創出数

新たな

平成21年4月~



地域雇用失業情勢 (事業開始時点の有効求人倍率)

鳥取県 0.46倍(季節調整値) 倉吉管内 0.39倍(原数値)

業務内容

月曜日から金曜日に福祉の店で食品・農産物・手芸品の物品 の販売補助

倉吉市役所や鳥取県中部総合事務所、ショッピングセンター や各種イベントの時の出張販売での販売の補助

福祉の店チラシをパソコンで作成し、出張販売の時等にPR



《 シビックセンターたからや内にある福祉の店

障がいの ある職員 以前の仕事と全然ちがう販売の仕事ですが、お客さんとのふれあいは楽しいです。(山下さん) これまで、営業をしてきましたが、店の販売の仕事ははじめてです。楽しみながら自分のペースで 仕事をしています。お客様にも声をかけたりして接客に心がけています。(本田さん)

市役所に毎週金曜日に 販売にいきますので、 皆さん買ってくださいね!

買っていただいた リピーターのお客様 から声をかけてもらっ た時が嬉しいです。

福祉の店の販売、PR担当 本田経嗣さん

福祉の店の販売、PR担当 山下真吾さん

先輩職員からの声

今までの手書きの経理から、本田さんにはパソコン経理をしてもらい助かります。 山下さんには、販売の他に清掃をしてもらい、きれいな店でお客様から喜ばれてい ます。お客様に接するなかでいろいろな経験をして幅広い活躍を期待しています。

今後の姿と 課題

中部地区福祉の店 振興協議会 会長 八渡和仁さん 障がいのある方の就労の場をひろげていくとともに福祉の店の益々の販売促進につなげていければと思います。

毎週楽しみにしています。 クッキーやクレープを良く買います。地域のおばちゃんも、野菜等 を買いによく来られるそうです。



《 市役所で出張販売をやっています!》

まるで天女の羽衣の食感! 鳥取県知事も大絶賛!!

福祉の店は食品、農産物、手芸品等いろいろと品揃えをしていますが、おすすめは「打吹うどん」です。 倉吉市のシンボル打吹山に伝わる天女伝説の羽衣をイメージに創作された、いままでになかった新しい食感のうどんです。

環日本海定期貨客船利用者おもてなし事業 【鳥取県:境港市】

事例紹介

ふるさと雇用再生 特別基金事業 【観光分野】 待望の「環日本海定期貨客船航路」が21年6月に開設されました。この航路は境港市経済の活性化のみならず、西日本と対岸諸国の「人」・「モノ」・「文化」の交流を促進する「海の道」となるものです。「北東アジアに向けたゲートウエー・境港(さかいこう)」が発展するように、韓国やロシアなどからのお客様が日本に来て良かったと思われるようなおもてなしに全力を尽くしています。

境港市観光協会 黒田事務局長

事業概要

韓国の「東海」とロシアの「ウラジオストック」と境港を結ぶ環日本海定期 貨客船が発着するフェリーターミナルに観光デスクを設置。外国語対応 の可能な職員を配置し、観光案内や両替を行いおもてなしの充実を図る。

委託先

事業費

境港市観光協会

雇用創出数

新たな

2人

6. 358千円

事業の開始

21年6月~



地域雇用失業情勢 (事業開始時点の有効求人倍率)

> 鳥取県 0.45倍(季節調整値) 米子管内 0.41倍(原数値)

業務内容

国際観光スタッフとして、外国人来訪者に各国(ロシア、韓国など)の言葉で境港市内をはじめ、大山・中海圏域等の観光案内

外国人観光客の両替や出入国手続きのお手伝い。 フェリーターミナルを利用する旅客等への湯茶のサービス

おもてなしの向上や航路の利用促進を図るため、接客を通じて、外国人旅行客の嗜好や旅行動向の把握

